

産業構造審議会保安・消費生活用製品安全分科会
液化石油ガス小委員会（第20回）
議事要旨

○ 日時：令和7年12月25日（木曜日） 10：00～11：45

○ 場所：オンライン開催

○ 議題：

（1）「液化石油ガス安全高度化計画 2030」の中間評価及び見直しの方向性について【審議】

（2）その他

○ 出席者：

委員長：大谷委員長

委員：浅野委員、小笠原委員、笠井委員、加藤委員、倉田委員、藤田委員

オブザーバー：日本LPガス協会、全国LPガス協会、日本エルピーガス供給機器工業会、
日本ガス石油機器工業会、日本コミュニティーガス協会、ガス警報器工業会

事務局：湯本技術総括・保安審議官、石津ガス安全室長他

○ 議事概要

各議題の審議状況、委員の発言は以下のとおり。

（1）「液化石油ガス安全高度化計画 2030」の中間評価及び見直しの方向性について【審議】

事務局から資料1-1について、全国LPガス協会から資料1-2について、特別民間法人高圧ガス保安協会から資料1-3について説明した後、委員等から次の意見があった。

- ・ 広報・教育について
 - 若い世代にはXを活用した広報も重要。消費者月間だけでなく続けると良い。高齢者にはリーフレットや講習会を続けて欲しい。
 - 質量販売緊急時対応講習の実技講習やX等の新しい取り組みが欲しい。
 - 他工事事故はリフォーム関係でも増えているので、埋設管表示シールの取り組みは良い。消費者にも周知必要と思うが、あらたな周知先があるのではないか。
 - 外国人向けに多言語でのパンフレットの作成されているのは良い。その他にも外国人向けの発信を行えるところがあると思う。また、易しい日本語での記載なども有効と考える。
- ・ スマート保安について
 - 外国人労働者等が増えてきている背景もあるので、スマート保安が大事。
- ・ 災害対策について
 - 質量販売緊急時対応講習は災害時に対応する方にも更に周知をして欲しい。全国に広げるとも潜在的に講習を受ける人を掘り起こすことが重要ではないか。
- ・ 今後10年間に想定される環境変化
 - 環境変化については、10年は長く先が読みづらく、常に何か起きたら、関係者で集まってアップデートしていくことが必要。

- ・ 全般
 - L P ガス事故はかなり減少しておりこれ以上減らすには工夫が必要。
 - ガスの傷害事故については第三者委員的な外部委員による詳細な事故分析を行うべきではないか。
- ・ 資料 1－1 の 4. 液化石油ガス安全高度化計画 2030 の見直しの方向性
 - 32 ページ目 中間評価（まとめ）（案）で、「他方、販売形態別で質量販売、起因者別で消費者及びその他、場所別で業務用施設における傷害事故については、安全高度化指標と比較した場合、指標を上回る状況。」としているので、見直しの最後の一文の記載も合わせて、「加えて、指標を上回る項目（質量販売における傷害事故、【消費者及び】その他起因による傷害事故、業務用施設での傷害事故）を中心に安全高度化目標の達成に向けた実行計画（アクションプラン）の追加の必要性について検討。」と【消費者及び】を追記していただきたい。

（２） その他

事務局から、次回の小委員会の日程は改めて連絡する旨説明があった。

○お問い合わせ先

産業保安・安全グループガス安全室

電話：０３－３５０１－１５１１（内線 ４９３２）